



平成22年度の商工施策について部会で要望をまとめる

10部会で役員会を開催

平成19年9月に従来の15部会を10部会に再編してから2年が経ちました。当所では、これまでから、商工会議所の重要な役割のひとつとして、地元商工業者の声を集約し、関係各所に対して意見要望活動をおこなってきました。

本年も、平成22年度の行政等への要望と部会活動について話し合うために、10月30日の食料品・水産部会を皮切りに、11月16日の機械金属部会にかけて、10部会すべてにおいて役員会等が開催されました。会議では、行政に対する主な要望として地元商工業者への優先発注やハード整備などが挙げられ、停滞する地元経済の活性化に向けて真剣な議論がおこなわれました。

各部会から出された意見・要望は、12月7日の常議員・部会長合同会議で当所からの意見・要望としてまとめて、京都府と舞鶴市に提出します。



11月16日に開催された機械金属部会役員会

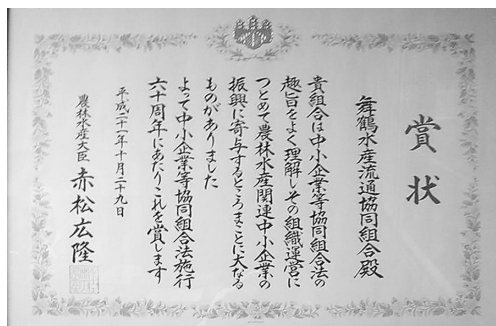
舞鶴水産流通組合が農林水産大臣賞を受賞

去る10月29日に、舞鶴水産流通協同組合（早瀬隆之理事長）が農林水産大臣賞を受賞されました。これは、中小企業等協同組合法が施行60周年を迎えるにあたり、おこなわれたもので、協同組合の組織運営に優れ、農林水産関連中小企業の振興に

大きく寄与した団体に送られます。

舞鶴水産流通協同組合は、昭和29年に舞鶴水産仲買協同組合として設立され、京都府漁連舞鶴市場で、セリに参加できる仲買業者で構成された組合です。組合員は、鮮魚の卸売業者・小売業者、水産加工品の製造・販売業者などで、現在、100名が加盟されています。

また、同組合では、早瀬理事長のリーダーシップのもと、毎年10月に開催される「まいづる魚まつり」を中心とした魚食普及事業や幼稚園と小学校の給食に地元の魚を提供する地産地消推進活動、そして、京都の水産仲買人全体の経済的地位の向上と組織強化に積極的に取り組まれています。



府産業功労者に

田中康弘参与と伊庭節子さん

平成21年度京都府産業功労者として、前副会頭で参与の田中康弘氏が知事表彰を受けられました。同氏は、舞鶴倉庫入社後、外国コンテナ航路の再開などに尽力され、京都舞鶴港と諸外国間の貿易振興と同港の発展に寄与されました。

また、八島おかみさん会の会長であり、地元商店街の活性化に取り組んでおられる伊庭節子さんも、府中小企業女性中央会会長として表彰を受けられました。なお、表彰式は、11月11日に京都市で開催されました。

京都府がおこなう産業功労者表彰制度は、商工業団体の運営又は事業活動等を通じ、京都府の産業の発展に大きく貢献された方々を表彰するもので、昭和56年から実施されています。受表彰者には、その功績が讃えられ、山田京都府知事から表彰状が授与されます。



田中康弘参与



伊庭節子さん